

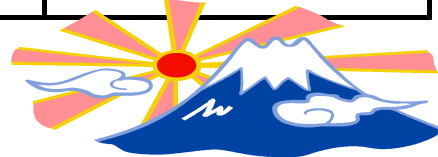
銚子七中
学校だより

坂東太郎

令和3年1月8日
第32号

校長閑話

COUNT DOWN 閉校まであと 84日



明けましておめでとうございます。令和3年、そして2021年がスタートしました。残念ながら、昨年から続くコロナ感染症はその収束の糸口が未だ見えない中、前途多難な幕開けとなりました。いよいよ今年は閉校の年です。様々な制限の多い中でこそ、生徒には夢や希望を持てる学校生活を送らせていきたいと考えております。そのため、私たち職員一同は全力で教育活動に努めていく所存です。残り84日となりますが、これからも本校の教育活動にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

12月を振り返って



9日（水） ゴールデンリーフ

本校敷地には多くのイチョウの木があり、季節の移り変わりを楽しませてくれています。現在では秋を終え、冬となり、至る所に落ち葉による金色の絨毯が敷き詰められています。校舎2階の西側突き当りの窓からは、一際明るく色付いたイチョウの葉が廊下を明るく照らしてくれています。間もなくこの葉も全て散ると、校庭は霜が降りることによって金色から白色の絨毯に変わります。

21日（月） 門松の寄贈をしていただきました！

今日は冬至です。各家庭では柚子湯やカボチャ料理を食べ、季節の節目を実感する日です。そのような日ですが、七中サポーターズ（豊里吹き矢会）の方々により、本校にプレゼントとして、大きな門松を頂きました。高さ1メートルを超えるほどの立派なものです。さらにその門松が映えるようにと、紅白の横断幕も頂きました。10人ほどの方々が来校されましたが、皆が本校卒業生で生徒会長をされていた方も数人おられました。閉校まで100日を切ろうとしている今、こうして七中に愛情を注いでくださる方々のお気持ちは嬉しいものです。レガシーの一つがまた増えました。門松については昼の全校放送で生徒に紹介しました。

24日（木） Merry Christmas !

クリスマスを含め年末年始は家庭で家族との団欒を楽しむことが多くなりそうです。そんな時、雰囲気盛り上げるのは家族で参加できるゲームです。ゲームと言えばテレビを利用したものですが、最近ではボードゲームが脚光を浴びています。昔からある野球盤や人生ゲームは再燃の兆しがあるそうです。さて、ボードゲームの元祖と言えばやはり日本人には馴染みの深い「双六（すごろく）」です。本校では1年生の国語の授業で双六を作成しました。大きな模造紙に書き記したもので、各コマの記述はアイデアが満載です。学びながら楽しめる一石二鳥のゲームに大いに盛り上がりました。

インドはい〜んど！？ ⑮



インドと言えば暑いイメージがありますが、主に首都ニューデリーのある北インドは日本ほどではないものの寒い時期があります。前号（31号）で紹介しましたが12月、1月の気温は昼間は23～25℃、早朝深夜は10℃まで下がります。赴任前に現地情報を得て、寒いと知った時にはいささか不思議に思ったものの、暖房器具は必需品と判断し、日本からこたつを持って行きました。インドの住居では床が畳ではなく、大理石を敷き詰めたものだったので、カーペットを二重にして設置をしました。また、こたつだけでは寒さをしのげず、エアコンの暖房も頼りにしていましたが、各部屋のエアコンは古く、電熱線を使用したものが殆どだったため、ブレーカーの遮断が頻繁にありました。結局はこたつだけに頼り、越冬できた記憶があります。インドとこたつは妙な取り合わせでしたが、何より贅沢なひと時はインドでこたつに入り、日本製のカレーを食べることでした。